

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。



地域との交流を大切に

## 第二ひらの

～経験が自信につながる  
取り組みを～

四月二十日(土)平野公園にてバザールに参加しました。

今まで活動で取り組んで来た、自社製品を『くすのき市』で出店し生活介護ひらのと第二ひらのの自社製品を利用者と一緒に販売し、地域の方との交流も含め、とても貴重な時間になりました。

その後五月二十日(土)には、くすのき市バザールの主催者関係者と縁があり、手づくりバザールの出店のお話をいただき参加しました。

「くすのき市」と同様一人一人が自信をもってそれぞれの役割に取り組み、初めての経験に最初は緊張した面持ちでしたが、次第に「いらっしやいませ、どうぞ」と声をかけ、少し離れた場所から「こ

ちらでバザーをやってます」と自主的に呼び込みに行く方もいらつしやいました。

品物を購入いただいたお客様には、丁寧に商品を袋に入れ、代金をいただき「ありがとうございますございました。」と伝える様子も伺えました。

事業所にもどり、利用者の方から、バザーについての意見や感想を聞くことが出来ました。売り上げを含め、なにがどれくらい売れたのか、私が見つけたキーホルダーやブレスレットは売れたか等も気になっていたり、今後増やした方が良い商品や、販売時間にもう少し居たかったなど、前向きな意見をたくさん聞くことができました。今回の取り組みがとても意味のあるものだったと実感しました。今後もこのような機会があれば参加して、地域の方との交流も含め、それぞれが自信をもって取り組んでいきます。

## ヘルパー日誌

～時速25km、風を感じて～

### 念願の景色を求めて

京都の嵐山に行ってきました。

今回の目的は、観光名物のひとつともなっているトロッコ列車に乗る事です。

嵯峨野駅から亀岡駅までの7.3kmの道のりを約25分かけて進み、四季折々の保津川溪谷の景色が楽しめます。

トロッコ列車は1号車～5号車までの5両編成ですが、私たちの目当ては「ザ・リッチ号」と呼ばれる5号車で、側板や床まで素通しで窓ガラスの無いオープン車両です。

1号車～4号車までは予約購入できますが、5号車だけは当日販売です。もしチケットが売り切れていたらトロッコ列車は諦めて嵐山観光をする予定でしたが、平日という事もあってすんなりチケットが手に入りました。

以前からトロッコ列車に乗ろうと約束していましたが、その約束を果たせる時が来てホッとしたのを覚えています。

電車に乗る機会はたくさんありましたが、トロッコ列車はまた特別です。時速25kmほどのゆっくりとしたスピードですが、オープン車両なので振動や音はしっかりと伝わってきますし、風を肌で感じる事もできます。

なかなか日常ではできない、五感に響く体験だったと思います。

利用者さんの嬉しそうな様子がこちらにも伝わってきます。

今回は春の保津川溪谷を体験しましたが、夏は新緑・秋は紅葉・冬は雪景色と、その時期に合った景色が楽しめます。

帰りには、また違う時期に行ってみたいですねとお話しをしました。



車窓から見える美しい景色に癒されました

# くれよん



育てる事の楽しみと  
食べる事の楽しみ

## くれよん菜園始めました

4月から新しい取り組みとして、4階の屋上部分を使ってくれよん菜園を行なっています。子ども達と菜園の話をしている時から、「〇〇育てたい!」「ちゃんと出来るのかな?」と楽しみにしている様子で、自分でコーナンにきゅうりやトマト、いちご等の苗を買いに行きました。実際に植える時も「大きくなってね」と優しく声を掛けながら真剣に取り組

んでいました。植えた苗が気になり「ちよつと見に行つていい?」「水あげたい!」と成長をとても楽しみにしています♪サニーレタス、きゅうりやイチゴは少しずつ出来ていて、サニーレタスはおやつのお好み



苗を植える為、土台作りを頑張っています



皆で協力して土作りをしている様子です

焼きや焼うどんに入れて食べ「おいしい!」と野菜が苦手な子どもも自分達で作ったからか、パクパクと食べていましたよ♪子ども達はまだまだ育っていない野菜や果物もあるので今後も成長を楽しみにしています。



こんなの採れたよ〜!と素敵な笑顔です



# ひらのお店屋

毎週金曜日の午後(十三時～十四時半)からひらの玄関前で自主製品の販売活動をしています。自主製品は普段の活動で利用者の方が製品しているハガキ、メッセーボード、キーホルダー、アロマキャンドルの4種類です。昼食を食べ終えた後、販売活動をする方、作業をする方に分かれます。(順番に販売、作業を交代し行なっています。)販売活動をする利用者の方は、販売する自主製品、机、



椅子等を用意します。その後、机を玄関に置き、物品をセッティングしていきます。そしてBGMを流し、いよいよ「ひらのお店屋」が開店です。「ひらのお店屋」での販売は初め緊張等もありましたが、何度か店番をしていくうちに元気な声で「いらっし

やいませ！」と言って、通りかかる地域の方や、学生さんに声を掛け、頑張って販売活動に取り組んでいます。その甲斐あり、地域の方に自主製品を買ってもらえることもありました。売れた時の利用者の方の嬉しそうな様子を見ることもできました。今はひら



「いらっしやいませ！」の声に道行く人たちが振り返ってくれます

の玄関前ですが、これからはっと外に出ていくことも考えています。そしてお店屋を通して利用者の方には地域の方々と関わり、販売活動をしているという役割、意識を持って、参加してもらえたらと思っています。



自主製品だけでなく、商品を置く棚、看板なども一から作りました

## 【お知らせ】

毎週金曜日の午後  
自主製品の販売を行なっています。  
是非お立ち寄り下さい。